

安芸灘諸島における中学生を対象とした環境学習と地域学習に関する事例研究

呉高専 正会員 ○山岡俊一 呉高専 正会員 市坪 誠 呉高専 非会員 佐賀野健
 呉高専 正会員 山口隆司 呉市役所 非会員 長原寛和 呉市役所 非会員 上東広海
 呉市役所 非会員 山本雅之 日本ミクニヤ 正会員 掛 園恵

1. はじめに

わが国の島嶼部では人口の減少と高齢化が著しい。この原因として若者の島離れが考えられるが、農業や漁業などの産業が低迷し、島内では職に就けないという現状がある。したがって、若者の島離れを防ぐことは現実問題としてかなり難しいといえよう。しかし、若者や子供に今一度、自分達の住む島やその周辺環境の魅力について考えさせ、海に囲まれた島を不便と感じるのではなく、財産としてとらえ、愛着を持たせることができたならば、将来の状況は変化すると思われる。

そこで本研究では、呉工業高等専門学校都市交通計画、景観工学、環境学習（一般科目体育）を専門とする教員、呉市役所職員、建設コンサルタントの技術者が連携し、瀬戸内海安芸灘諸島の大崎下島（呉市）の中学生を対象に出前授業として環境学習（海の生物観察会）と地域学習（島の魅力と誇りを考える）を実施した。そして、これらの取り組みの様々な効果を確認する。

2. 環境学習と地域学習の概要

環境学習および地域学習はいずれも大崎下島にある呉市立豊中学校（実施当時は豊町立豊中学校）の1、2年生を対象に実施した。

（1）環境学習

環境学習は平成16年12月6日（月）の10:30～12:15（3、4時限）に、1、2年生31名を対象に、豊中学校横の磯場で実施した。海の生き物観察方法は広島県海岸・干潟生物調査マニュアルに順じて行った。参加生徒を数人のグループに分け、グループごとに約1時間程度で生物を採取し、バットに移した。その後、採取した海岸生物の解説を聴きながら、海岸生物の観察を行った。それと同時に生物調査記録用紙（磯編）に採集した生物を記録し、海の評価を行った。

また、観察会の効果を把握するために観察会の数日後、参加した豊中学校の1、2年生30名を対象に簡単な自由記述式のアンケート調査を実施した。

（2）地域学習

地域学習は中学生が安芸灘諸島における自然環境や歴史文化等の環境資源を見つめ直し、自分の島に対する関心度を向上させることを目的に実施した。実施方法は、「豊町の良いところや誇りを探そう」と題した自由記述式のアンケートを中学生に実施し、旧豊町の良いところや誇りを持っているところなどを記入してもらった。アンケートの有効回収数は39部（全校生徒数44名）で、自由記述回答数は合計212であった。

3. 環境学習実施結果

（1）海の評価

採取した生物は指標生物20種類中12種類、およびそれ以外の29種類で計41種類であった。海の評価は「きれいな海：自然景観の残された場所が多く、水質も良好で、水に親しめる場として非常に重要です」という結果であった。

（2）参加生徒に対する事後アンケート調査結果

図-1は今回の観察会に参加するまでの、参加生徒の磯や浜での生物採取経験を示したものである。図より、約4割の生徒が11回以上磯や浜での生物採取の経験があるという結果であった。したがって、これまで

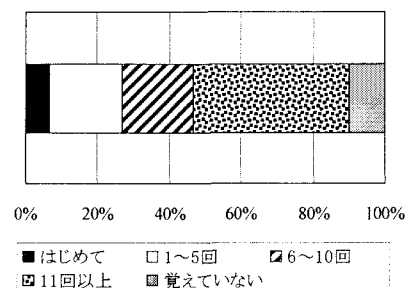


図-1 参加生徒の磯や浜での生物採取経験（回答数：30）

も海に親しんできていることが分かる。

表－１は観察会で参加生徒が覚えた生物のうち複数の回答があったものを示している。観察会前は大きな枠で生物をとらえていたが、終了後は生物を正確な名称で認識できたことを示している。なお、アンケートに回答した 30 人中 27 人が新たな生物を学習した。

また、自由記述式の感想では、「思った以上に海がきれいだったと思った」、「海をもっときれいにしていきたい」、「いつも何気なく見ていた海の生物名前や性質を知ることができ勉強になったし興味がわいた」などの意見が多く、環境学習により身近な海の環境についての関心度が向上したといえる。

4. 地域学習実施結果

ここでは、地域学習の一環として実施した「豊町の良いところや誇りを探そう」と題したアンケート調査結果を示す。

(1) データの集計方法

本アンケートは自由記述方式のため、得られたデータは文章データとなっている。したがって、何らかの方法で定量化し、回答の傾向をつかむ必要がある。そこで、自由記述文をその内容により分類し、どのような回答がどの程度見られたのかを集計していくこととした。自由記述文の分類は二段階で行っており、第一段階目では表－２に示すようなキーワードに基づいて大まかに分類（大分類）した。第二段階目では、第一段階目での分類からさらに何を対象とした記述なのかを明らかにするための分類（対象分類）を行った。

(2) 大分類に基づく集計結果

ここでは、表－２に示す大分類に基づいた集計結果について考察していく。大分類に基づいて 212 の回答を集計した結果を図－２に示す。図より、「自然」や「風景」に関する記述が多く見られた。豊町の豊かな自然、瀬戸内海や周辺の島々の自然環境に誇りを感じている生徒が多いといえよう。また、柑橘類や魚介類などの特産物、豊町の歴史や文化、豊町に住む人々に誇りを感じている生徒も多い。中でも町に住む人々を誇りとしている回答が多かったことが特徴といえよう。

(3) 対象分類に基づく集計結果

ここでは、(1) で分類した自由記述文を詳細に考察

するために、記述の対象が何なのかを具体化した二段階目の分類（対象分類）に基づく集計結果についてまとめた。瀬戸内海や山といった自然、観光スポットとなっている公園・施設や歴史的町並み・建造物、特産品である柑橘類というような旧豊町を代表するものを町の誇りとしている。その一方で、町に住む老人、静かで落ち着いた雰囲気を持ちつつも伝統ある行事を愛する地域社会を誇りとする回答も多いことがわかった。

5. まとめ

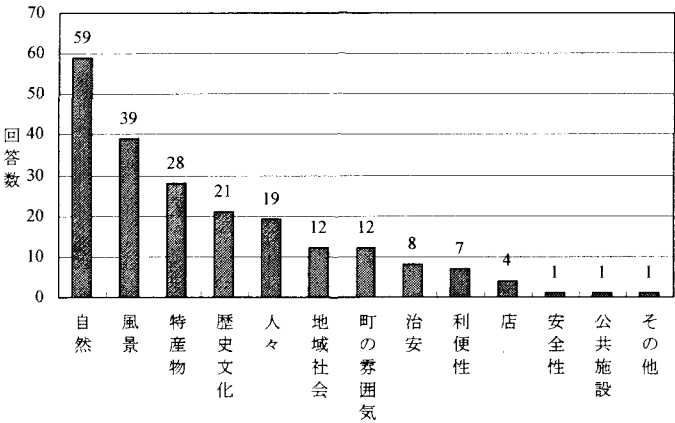
環境学習と地域学習は、中学生の地元地域に対する関心度の向上に効果があることが確認できた。また、これらの取り組みは、対象地域の環境資源の診断や発掘にも有効であることが分かった。

表－１ 観察会で覚えた生物

生 物	回答数
ヤツデヒトデ	10
マツバガイ	10
クロフジツボ	7
オオヘビガイ	6
カメノテ	6
ケガキ	5
ヒザラガイ	5
イシゲ	4
スポンジ	4
ゴカイ	3
アオガイ	2
アナアオサ	2
イボニシ	2
マガキ	2

表－２ 大分類キーワード（第一段階目）

分類キーワード	内 容
1. 自然	海や山など豊町の自然に関する記述
2. 風景	豊町内やその周辺の景色に関する記述
3. 歴史文化	歴史的な建造物や町並みに関する記述
4. 地域社会	お祭や運動会など豊町の行事等に関する記述
5. 特産物	豊町の特産品に関する記述
6. 利便性	豊町の利便性に関する記述
7. 安全性	豊町の安全性に関する記述
8. 公共施設	豊町の公共施設に関する記述
9. 治安	治安の良さに関する記述
10. 町の雰囲気	豊町の雰囲気に関する記述
11. 人々	豊町に住む人々に関する記述
12. 店	特定の店に関する記述
13. その他	上記以外の記述



図－２ 大分類に基づく自由記述文の集計